





第50号までのあゆみ

新二本松市誕生から、市議会だよりも今号で第50号の発刊となりました。創刊号から第50号までの市議会だよりのあゆみを振り返ってみました。

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
<p>■創刊号(18.1.1発行) 新時代の幕開け</p> <p>■3号(18.8.1発行) 市民と共にスタート 新議員30人</p> <p>■4号(18.11.1発行) まちづくり調査 特別委員会設置</p> <p>■5号(19.2.1発行) 行財政改革 特別委員会設置</p> <p>■11号(20.8.1発行) 工事請負契約締結 2議案を否決</p> <p>■12号(20.11.1発行) 百条委員会設置</p> <p>■16号(21.11.1発行) 議員定数条例可決 26人に</p> <p>■19号(22.8.1発行) 新議会スタート</p>	<p>12月臨時会</p> <p>7月臨時会</p> <p>9月定例会</p> <p>12月定例会</p> <p>9月定例会</p> <p>6月定例会</p> <p>9月定例会</p> <p>7月臨時会</p>	<p>合併後、初の議会開催。正副議長、委員会構成を決定。 議長に斎藤元氏、副議長に引地仙一氏が就任。議員数は合併在任特例により73人。</p> <p>新市誕生後初めての市議会議員一般選挙により議員数は30人に。 正副議長、委員会構成を決定。 議長に市川清純氏、副議長に加藤和信氏が就任。</p> <p>二本松駅周辺整備事業、安達駅周辺整備事業等、新市のまちづくりに関する調査を行うため特別委員会を設置。</p> <p>市政改革集中プラン行動計画と議会改革を調査するため、特別委員会を設置。</p> <p>東和小学校校舎・屋内運動場新築主体工事請負契約と大平小学校校舎地震補強及び大規模改造主体工事請負契約締結の2件を賛成少数で否決。遅延工事を行った請負業者に対する処分が不明確であることから否決されたが、この後7月臨時会で、遅延の責任の多くが発注者である市側にあることや、工事実施期間を考慮し、可決。</p> <p>市発注工事遅延等調査特別委員会を設置。工事完了が4月であったにもかかわらず、年度内の3月に完了したと公文書に記載されていたことによるもの。</p> <p>議員提出議案「議員定数条例」を可決。 議員定数は30人から4人減の26人に。</p> <p>市議会議員一般選挙が行われ、議員数26人でスタート。 正副議長、委員会構成を決定。 議長に斎藤賢一氏、副議長に平塚與志一氏が就任。</p>	<p>14号 この号から横書き左綴じに</p> 	<p>創刊号 表紙は正庁での臨時会の様子</p> 

にほんまつ市議会だより

平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成23年
<p>■50号(30.5.1発行) 議員定数条例改正 22人に</p>	<p>■47号(29.8.1発行) 初の議会報告会</p>	<p>■41号(28.2.1発行) 新二本松市 総合計画を審査</p>	<p>■40号(27.11.1発行)</p> <p>■38号(27.5.1発行) 当初予算は620億円</p>	<p>■35号(26.8.1発行) 新議会スタート</p>	<p>■23号(23.5.1発行) 大震災発生 定例会会期を短縮</p> <p>■22号(23.8.1発行) 大震災・原発事故 対策議案を審議</p>
3月定例会	議会報告会	12月定例会	3月定例会	7月臨時会	9月定例会
議員定数を4人減の22人とする条例改正修正案を可決。市民の直接請求で議員定数を20人とする条例改正案が提出されたことを受けて修正案を提出し、賛成多数で可決した。	第1回議会報告会を市内4会場で開催。定例会の審議内容、議会の活動状況を報告したほか、出席者から、市政や議会への意見・質問をいただく。	市の最上位計画である「新二本松市総合計画」を審査するため、特別委員会を設置。	初めて予算審査特別委員会を設置。一般会計の予算規模は除染事業等の増額により、過去最高の620億円に。 議長に野地久夫氏が就任。	市議会議員一般選挙が行われ、正副議長、委員会構成を決定。 議長に中田涼介氏、副議長に本多勝実氏が就任。	前年度会計の決算を審査するため、初めて決算審査特別委員会を設置。 会期中に大震災が発生。大震災への対応のため会期を短縮して閉会。最終日の本会議は余震が続く中、出席者全員が作業服で開催された。
					
		38号 紙面をリニューアル、右綴じに			23号 表紙は大震災の被害状況